

# JSCA指導者検定会 レクリエーショナルカヤック ベーシック報告書

シーカヤック

報告者  
報告日

紺野祐樹

2020年11月19日

検定会場			
開催日	知識課目	2020年11月9日	
	技術課目	2020年11月10日(レクリエーショナルカヤック)、11日(シーカヤック)	
検定会場	知識課目	岩手県釜石市片岸町 片岸町集会所	
	技術課目	根浜漁港	
主管	JSCA公認スクール	アースクエスト	
種目	シーカヤック		
担当検定員(チーフ)	紺野祐樹	資格	SGT
	(第2)	資格	
アシスタント		資格	
デモ	鈴木和昌	資格	KAI
研修参加者		資格	
		資格	
		資格	
		資格	
受験者数		8名	
単位取得者数		8名	

天候等自然条件		10日: 晴れ エリアの最大風速5m/s、実施場所の最大風速4m/s 気温7℃ 水温15℃ 11日: 晴れ エリアの最大風速5m/s、実施場所の最大風速5m/s 気温8℃ 水温15℃	
安全技術 実施内容	艇種の特性 に関して	レクリエーショナルカヤックについて、浮力体の重要性、レスキューの難しさ、様々な艇種があるので、目的に応じてモデルを選択することの大切さ、ドレンプラグについてシーカヤックについて、モデル毎の乗り味の違い、レスキューの容易さ、バランス感の話	
	レスキュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプローチのためのボートコントロールと3S(両日)</li> <li>・トーイング: 受験者は道具を持っていなかったため、その状態でのトーイングの方法の考察と検証を行い、上手い方法方法をシェア。何も使わない方法、カウテールとトーイングロープの説明と使用法のデモ、ロープ類を使う際の注意事項(両日)</li> <li>→ TXレスキュー、Tレスキュー、スイミング(再乗艇が難しい艇)、馬乗り再乗艇(11/9)</li> <li>→ バルクヘッドが無いカヤックの水抜き、浮力体を工夫する必要性、上陸後の水抜きの方法</li> <li>・Tレスキュー、セルフレスキュー(馬乗り)の実践。相手を変えて複数回。(11/10)</li> <li>・レスキューの段取り(拾う順番や次の動きを見越したボートコントロール)(両日)</li> </ul>	
	活動フィールドの考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の地形図にて、季節毎の卓越風及び主要な風向における注意点を考察</li> <li>・活動フィールドを見ながら、考察を検証、活動領域をさらに考察</li> <li>・漁船との関わりについて</li> </ul>	
その他特記事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全受験者が事前講習を受講後、数日程度の練習を行っている。</li> <li>・風が強かったですが、会場は岸壁に囲まれているため、海面の風が弱い場所を選んで検定を行った。</li> <li>・3艇種連続開催だったので、項目が重複する指導法・「ライフジャケットの装着」については、初日のみ組み込んだ。</li> </ul>	